

みずほCustomer Desk Report 2019/07/08 号(As of 2019/07/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.91
TKY 9:00AM	107.82	1.1286	121.68	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.64	1.1287	121.92	1.2582	0.7025
SYD-NY Low	107.79	1.1208	121.61	1.2587	0.7029
NY 5:00 PM	108.48	1.1226	121.81	1.2481	0.6958
				1.2535	0.6978
NY DOW	26,922.12	▲ 43.88	日本2年債	-0.2200	0.00bp
NASDAQ	8,161.79	▲ 8.44	日本10年債	-0.1700	▲1.00bp
S&P	2,990.41	▲ 5.41	米国2年債	1.8654	10.28bp
日経平均	21,746.38	43.93	米国5年債	1.8366	10.06bp
TOPIX	1,592.58	2.80	米国10年債	2.0382	8.58bp
シカゴ日経先物	21,665	▲ 40	独10年債	-0.3640	3.60bp
ロンドンFT	7,553.14	▲ 50.44	英10年債	0.7360	6.00bp
DAX	12,568.53	▲ 61.37	豪10年債	1.2825	▲1.10bp
ハンセン指数	28,774.83	▲ 20.94	USDJPY 1M Vol	5.64	▲0.22%
上海総合	3,011.06	5.81	USDJPY 3M Vol	5.78	▲0.22%
NY金	1,400.10	▲ 20.80	USDJPY 6M Vol	6.05	▲0.08%
WTI	57.51	0.17	USDJPY 1M 25RR	-1.00	Yen Call Over
CRB指数	180.78	0.30	EURJPY 3M Vol	5.99	▲0.25%
ドルインデックス	97.29	0.52	EURJPY 6M Vol	6.52	▲0.14%

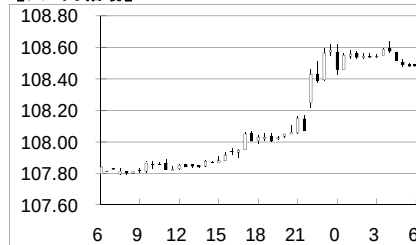
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月5日	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	5月 -2.2%/-8.6%	-0.2%/-6.2%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	6月 224K	160K
	21:30	米 失業率	6月 3.7%	3.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	6月 0.2%/3.1%	0.3%/3.2%

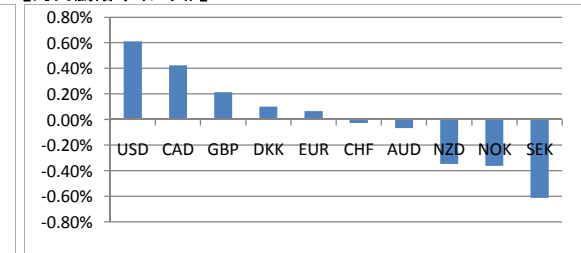
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月8日	08:50	日 国際収支・経常収支	5月 ¥1395.3B	¥1707.4B
	08:50	日 貿易収支	5月 -¥758.9B	-¥98.2B
	08:50	日 コア機械受注(前月比/前年比)	5月 -3.8%/-3.6%	5.2%/2.5%
	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 0.4%/-3.2%	-1.9%/-1.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.20-109.20	1.1150-1.1250	121.50-122.50

【マーケットインプレッション】

先週末海外時間のドル円相場は上昇する展開。この日発表された6月の米雇用統計にて非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に上回ったことを受け、米金利が上昇する展開に、ドル買い優勢の中、ドル円相場も約1ヶ月ぶりの高値水準まで上昇した。本日のドル円相場も、米金利が上昇する中、底堅い展開を予想したい。今月末のFOMCにおける利下げはほぼ確定的ではあるが、一部で50bpsの利下げを見込むなど、過度な利下げを織り込む向きが進んでいた。当面はそうした動きが修正される可能性が高いと思われる、米金利の上昇と共にドル円も底堅く推移するものと思われる。

東京	東京時間のドル円は107.82レベルでオープン。本日は5・10日とあって仲値にかけては実需勢の買いにサポートされ上昇し仲値後に107.88をつけたが、NY時間に6月米雇用統計を控えた週末とあって様子見ムードが強く107円台後半での狭いレンジでの推移となった。終盤日経平均株価の上昇に連れ高となり、高値107.93をつけそのまま107.92レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.92レベルでオープン。米雇用統計を控えたポジション調整や、米10年債利回りの上昇を手掛かりに108.16まで上値を伸ばし、108.15レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2587レベルでオープン。6月の英住宅価格が前月比0.3%低下したことや、英首相候補ジョンソン氏が合意なき離脱(ノー・ディール)の準備を加速させると発言したこと等から、1.2540まで下落。1.2550レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米6月雇用統計を控えて、様子見ムードが広まる中、108円手前での小動きでスタート。その後、米金利の上昇を横目に108.16までじりじりと上昇し、108.15レベルでNYオープン。注目の米6月雇用統計は、非農業部門と民間部門の雇用者数や労働参加率が予想以上に上昇したほか、平均時給の前回値が上方修正されたことが好感され、ドル買いが強まり、108.51まで急上昇。その後108.38まで反落するが、1.96%近辺で推移していた米10年債利回りが2.06%台まで上昇する動きにサポートされ、108.62まで反発上昇。「トランプ米大統領が利下げをあらためて要求」とのヘッドラインが伝わると108.43まで下落するが、売りは長続きせず、高値圏まで値を戻す。4日の米祝日(独立記念日)と週末の谷間となる本日は取引参加者が少なく、NY午後は閑散取引となり、108.50近辺で方向感無く推移。高値108.64まで上昇する場面もあったが、結局、108.48レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、1.1280近辺での小動きでスタートするが、独5月製造業新規受注が大幅に予想を下回ったことや、米金利の上昇を受けて、一時1.1256まで下落。その後、小幅反発し、1.1259レベルでNYオープン。米6月雇用統計の結果が総じて予想より強い内容だったことから、ドル買いが先行し1.1208まで急落。米金利も大きく上昇したことを受けて、その後も1.1220近辺で上値重く推移。NY終盤は小幅に値を戻し、1.1226レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・田家